

20220205 専攻科特別研究発表会挨拶

みなさん、おはようございます。

今日は、みなさんの2年間の研究、あるいは3年間の研究の成果を発表する時が来ました。

昨年の中間発表のとき、『研究とその発表は、考える力を鍛え、その考えを説明する力を鍛える一番の方法です。』と、話しました。あれから1年、みなさんはいろいろなところで発表されてきたと思います。鍛えられてきましたでしょうか。

また、『研究はやればやるほど疑問がでてきますが、面白さもわかってきたのではないかと思います。』ということも、話しました。この点はいかがでしょうか。やり残した、と思われる方は、まだ1カ月、打ち込めます。新しい1行を追加してください。

みなさんが社会に出ると、専攻の異なる人たちがグループを作って、チームで作業することになります。そこでは他の人のことをどれだけ理解できるかというのが大事になってきます。

今日は本来なら、3専攻のみんなが集まっていたいて、自分の専攻ではない同級生の話を聞き、それにまた質問してもらおうと思っていましたが、コロナへの対応のために同じ専攻の同級生だけの参加にしました。

さらに共同研究者の方や保護者の方、それから一年生の諸君の参加も取りやめました。残念ですが、どうぞご理解ください。

同じ専攻のよく知った同級生の発表となるとと思いますが、それでもさらに理解を深めることができるように質問して下さい。

最後になりましたが、学生の研究を支援して頂きました先生方に感謝申し上げます。また、学生にこのような専攻科特別研究発表会の場を準備していただきました、すべての教職員の方々に感謝申し上げます。

それではみなさん、発表会を始めましょう。